



●監修●
高橋知之先生
(高松医院 / 形成外科医)

怖い
かゆい、耳たぶが
ただれる、裂ける
知ってますか？

ピアス皮膚炎

18才~20才前半に圧倒的に多いピアス・トラブル。正しい知識とケアでピアスを楽しもう！

●「ピアス皮膚炎」ができるわけ

1 穴あけピアッシング



写真はピアスガンを耳たぶに穴をあけ、同時に穴あけ専用ピアスを打ち込んでいます。

2 穴からリンパ液が出る



人工的に傷をつくったわけですから、リンパ液や血液が出てきます。

3 細菌が感染

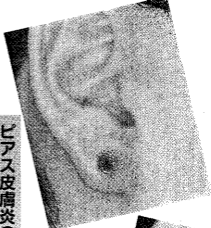


リンパ液に細菌感染してしまふと、化膿し、赤くはれてかゆく、ジクジクする。

4 金属アレルギーに



ジクジク状態が続くと、ピアスの金属が少量溶け、金属アレルギーになる可能性があります。



ピアス皮膚炎の 症状のいろいろ

耳たぶが赤くはれている



ジクジクして、穴からい
つまでも汁が出ている



耳たぶが裂けた



皮膚がかさかさになった



かゆい



上の写真はピアスの穴がジクジク
しているもの、下の写真は、耳たぶ
全体にトラブルが波及している。

橋医院では、シリコンピアスを使
った治療が行われています。金属
性のピアスの代わりに、シリコン
を練にしたピアスを穴に通したま
まで治療を受けるのです。
シリコンは、豊胸術にも使われ
る物質で、アレルギーを起こす心
配がありません。柔らかいので、
傷にもやさしく、消毒液や軟膏も
つけやすいのです。2〜3週でト
ラブルは治まり、穴はきれいにか
わいて残ります。
ただ、この治療を実際に行って
くれる病院がまだ少ないのが残念
なところです。身近にそんな病院
がない場合は、今回はピアスを
あきらめて、トラブルを治して
ください。症状がさらに進むと金属
アレルギーになってしまう可能性
があるのです。3か月間以上もほ
うっておくのは危険です。
金属アレルギーを起こしやすい
金属はニッケルやコバルトで、安
価なためアクセサリに使われて
います。18Kピアスにも僅かなが
ら含まれています。これらの金属
イオンが傷から体内にはいると、
その金属に対する拒絶反応が起こ
る体質に変わる人がいるのです。
金属アレルギーはいったん起こ
ると一生続きます。重症になると
ピアスだけでなく、ネックレスや
腕時計でもかぶれます。金属アレ
ルギーが出た人は、パッチテスト
を受けて、反応が出た金属を含ま
ない材質のアクセサリをつける
ようにするとよいでしょう。

大須で生まれ
名古屋で育った
日本の銘菓



二つの赤い提灯の
大須ういろなほ

大須ういろ本店/名古屋市中区大須三丁目15番1号
TEL.(052)262-1816(代表)

穴あけは「穴あけ専用ピアス」で



しかし、18Kピアスは軸が細く、きしりなので、穴の中の血液やリンパ液が体外に出にくく、化膿しやすいのです。また、減菌されていませんので、耳に刺す前に消毒しなくてはなりません。18Kピアスで穴をあけた人の3割の人がトラブルを経験します。そのうえ、前述のように金属アレルギーを起こす危険もあります。

トラブルなしにピアスを楽しむには、まず穴あけのときに注意が必要。ピアスの穴あけは、日本では医療行為ですから、あけてもらうには病院へ行きます。皮膚科、耳鼻科、内科など、どこの科でもあけてくれます（ただし、歯医者はききません）。

病院では、局所麻酔をし、太い注射針で穴をあけ、持参のピアスを入れるのがもっとも一般的です。中には友人同士で行う人もいますが、水で耳たぶを冷やして感覚をなくしてから、朝しゅう針のような太針で穴をあけ、ピアスを刺します。しかし、これは清潔とはいえず、あまり勧められません。

穴あけ専用ピアス

穴をあけるときのピアスは、アクセサリー店で相談すると18Kのピアスを勧められるはずですが、

月間300人以上のピアス皮膚炎を治療している高橋医院では、厚生省が穴あけ専用として認可している完全減菌された穴あけ専用ピアスを勧めています。医療用ステンレス（ニッケル含有量が少ない）に24Kメッキされた（24KGPという）軸は太く、大きな留め金がついています。そのため体外に血液やリンパ液を出しやすく、消毒が簡単にできるのがトラプルピアスの特徴です。高橋医院でのピアスを使って穴をあけると7500円です。

穴あけ専用ピアスは医療器具なのでピアスに理解のある病院は揃えてはいるはずですが、大きなアクセサリー店でも扱っている所があり、これをピアスガンという器具に装着し一瞬のうちに耳たぶに打ち込みます。まったく出血はなく、ほとんど痛くありません。トラプル発生率は7パーセントで現在のと

ころ一番安全な方法といえます。自分で穴をあける器具（6000円〜7000円）も売られています。この器具は完全減菌された穴あけ専用ピアス（24KGP）が装着されています。これを使えば病院で18Kピアスをつけてもらうより安全で、トラプルの発生率は14パーセントといわれています。

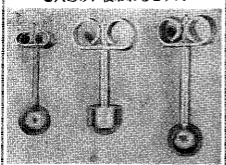
どの方法であけても、穴が完成するまでは、自分できちんとケアをしなければなりません。
ピアスの穴のケア
最初の1か月間はある程度ジクジクしているのが当然です。この間、もし18Kピアスをして

いるなら、留め金を締めすぎないことが大切です。そして、穴の中の血液やリンパ液が出やすいように、眼をみつめてピアスを前後に動かします。穴の周囲を指で押したり、しほったりするのは効果的

です。
穴をあけた当日から、入浴もシャワーもできませんが、1日1〜2回忘れずに消毒をします。消毒液はアルコールやオキシドールなどの刺激の強いものを選ばないで、かぶれることがあります。副痛に経過すれば、1か月でジクジクはなくなりませんが、3か月間は用心して穴あけ専用ピアスをして、その後好みのものに替えてください。

ただし、その後もなにかのきっかけで、穴の中に傷をつくることがあります。ジクジクしてきたら穴あけ専用ピアスに替えます。しかし、たとえ穴あけ専用ピアスでも、なるべく早く適切な治療を受けることが大切です。

●穴あけに使われるピアス



完全減菌された24KGP（医療用ステンレスに24Kメッキ）製。なかでも軸が太く、留め金が大きいのが安全。右側が厚生省が穴あけ専用ピアスとして認可しているもの。

ピアスをするなら、これだけは守ろう！



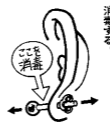
穴がきれいにできて、3か月間はなるべく24KGPピアスを使う。



穴あけにはピアスは、穴あけ専用の軸の太い24KGPのピアスを使う。



穴をあけるときは、24KGPピアスを使うか、アフターケアをしてもらえるかなどを病院に確認してから。



穴をあけたら、1か月間はピアスを前後に動かすようにしながら、1日1〜2回消毒する。



3か月以上たつて、穴がきれいにあっていたら、寝るときははずす。



穴から出てくるリンパ液はそのままにせず、きれいな脱脂綿やティッシュペーパーでまめに拭く。



セーターなどかぶるタイプの服を着替えるときは、耳ピアスを引っばったり、こすったりしないように。



穴がジクジクしている間は24KGPピアス以外は使わない。



●監修●
高橋知之先生
(高松医院 / 形成外科医)

怖い
かゆい、耳たぶが
ただれる、裂ける
知ってますか？

ピアス皮膚炎

18才~20才前半に圧倒的に多いピアス・トラブル。正しい知識とケアでピアスを楽しもう！

●「ピアス皮膚炎」ができるわけ

1 穴あけピアッシング



写真はピアスガンを耳たぶに穴をあけ、同時に穴あけ専用ピアス打ち込んでいます。

2 穴からリンパ液が出る



人工的に傷をつくったわけですから、リンパ液や血液が出てきます。

3 細菌が感染



リンパ液に細菌感染してしまふと、化膿し、赤くはれてかゆく、ジクジクする。

4 金属アレルギーに



ジクジク状態が続くと、ピアスの金属が少量溶け、金属アレルギーになる可能性があります。

●高橋知之（たかはし・ともゆき）先生
 池袋ピアスセンター／高橋医院の形成外科医
 歴。浦島大学医学部卒業。疫学研究病院を経て開業。現在はピアス皮膚炎の治療に熱意を
 もっている。

ピアス皮膚炎の症状と治療法



セトがピアスをしているといわれ、その中心は18才〜20才代前半の若い女性です。ピアス人口が急激に増えてきたのは、ここ5〜6年ですが、ピアス皮膚炎という聞き慣れないトラブルも確実に増えています。

耳たぶがはれて、かゆい

あなたは耳に穴をあけていますか。毎年3月、4月は、耳に穴をあける女性（最近では男性も）が増える季節です。学校を卒業して、就職を機にピアスにチャレンジしようというのです。

現在、日本の女性の5〜8パー

セントピアスをするには、耳たぶに小さな穴をあけます。その穴にピアスをつけたままです。その穴にピアスをつけたままにしておくこと、うまくいけば穴の中に皮膚が伸びてきて、1か月くらいで穴の内側が皮膚で完全にふさがれます。

●ピアスの穴を保存し て治す場合



シリコンピアスにつけ替え、消毒や軟膏で治す。2〜3週間でかぶれが治る。

●ピアスの穴にこだわらずに治す場合



ピアスをはずして、皮膚炎の治療をする。1〜2週間で治るが、穴はふさがっている。

す。この傷が化膿しないできれいに治るように、消毒薬や軟膏をつけるわけですが、うまくいかないことも珍しくありません。

穴をあける方法によって、トラブルが生じる率に少し差がありますが、18Kピアスを使って穴をあける（現在一番よく使われている）方法では、3割の人にトラブルが起ることというデータもあります。

具体的な症状は次のようです。「いつまでたってもジクジクして」「穴からウミが出てくる」「耳たぶが真っ赤にはれてしまって、かゆい」「皮膚がただれて、かさかさ」「いつのまにかピアスが耳たぶに埋まってしまった」「耳たぶにしこりができた」

これらの症状は、穴あけがうまくいかなかった場合だけでなく、半年くらいうまくいっていったに突然炎起こってくることもあります。一度きりの穴あけでピアスの出し入れやセーターなどにピアスをはずしかけて傷をつけてしまうことがあるのです。

病院に行かずに治したい

ほとんどの人は病院に行かずに自分で治そうとします。病院へ行くこと、ピアスをつけたためにトラブルが生じたのだから、ピアスをはずして治療しましょう」といわ

れるのが普通です。ピアスをはずして抗生剤の軟膏を塗りつけて治療すると、1〜2週間で治ります。しかし、せっかくあけた穴がふさがってしまふのです。穴の中の皮膚がきれいな状態なら、1〜2日ピアスをはずしてふさがりますが、ジクジクしている状態ではすくなくふさがってしまふのです。

ですから、それがいやで、薬局で消毒薬や軟膏を買って自分で治そうとする人がほとんどのようです。怪けられこれだけで治るともありません。穴がよみがってしまってもほとんどの人はピアスをあきらめず、数か月後にまた挑戦して

いきます。

●消毒液の注意



アルコールのはいつていないものを使って、耳たぶの後ろをくわいていぬにする。